

地方独立行政法人市立大津市民病院
令和2年度第3四半期、年度実績見込み報告書

令和3年1月29日報告 地方独立行政法人市立大津市民病院

令和3年2月19日確認 大 津 市

目 次

I 全体的な分析・確認結果（法人の自己分析と市の確認結果）

- 1 年度計画に掲げる目標指標に関する目標を達成するための取組
- 2 事業年度における第3四半期及び決算見込みの財務情報等に関する目標を達成するための取組

II 項目別での分析・確認結果（法人の自己分析と市の確認結果）

- 1 年度計画に掲げる目標指標に関する自己分析・確認結果まとめ
- 2 事業年度における第3四半期及び決算見込みの財務情報等に関する自己分析・確認結果まとめ
 - (1) 年度計画で掲げる収支計画のうち次に掲げる区分の金額と進捗状況
 - (2) 事業年度における第3四半期及び決算見込みの財務情報のうち資金繰り等に関すること
 - (3) 事業年度における第3四半期及び決算見込みのその他の情報のうち職員体制等に関すること
 - (4) その他、法人経営において特筆すべきこと

<別紙>

- 1 令和2年度の第3四半期業務実績に関する小項目業績評価における指標一覧（10-12月期） --- 第3四半期分

I 全体的な分析・確認結果（法人の自己分析と市の確認結果）

1 年度計画に掲げる目標指標に関する目標を達成するための取組

<p>〈法人の自己分析〉</p> <p>第3四半期は、新型コロナウイルス感染症の影響による上半期の厳しい経営状況から、外来延患者数をはじめ徐々に回復傾向となり、入院及び外来診療単価、救急入院患者数、ICU稼働率、紹介率、逆紹介率について目標を達成した。特に12月期は入院収益が前年同期比で+27百万円となり、内科系及び泌尿器外科、脳神経外科、心臓血管外科を中心に21診療科中10診療科において前年同期比で改善した。新型コロナウイルス新規感染者数が落ち着いた期間で診療所訪問を集中して行ったことなどにより、外来収益についても回復傾向となった。また、第3四半期の救急搬送比率は、前年同期比で改善し、特に10月期は2年振りに25%超となった。今後を見据えた取組として、冬期にかけての感染再拡大による通常診療への影響を抑え、通常ERを有効的に活用し、当院が求められている役割を果たせるように、感染症ERの建設に着工、12月に稼働を開始した。</p> <p>4-12月期の実績及び年度実績の見込みは計画値を達成する指標は少なく、冬期の感染再拡大期の影響を予測するとさらに厳しい状況となっている。新型コロナウイルス感染症の影響から、訪問看護の需要が増加し、訪問看護ステーションの収入が堅調ではあるものの、第4四半期には感染再拡大による手術件数の減少や新型コロナウイルス患者受入れ増加に対応する人的資源の再配置により、一般の入院患者の受入れを制限せざるを得ないため、医業収益は悪化する。このような状況の中で、当院が感染症指定医療機関としての使命を果たしつつ経営を安定させるために、診療科ヒアリングを行い、今後の収益改善に係る協議を各診療科と進め、職員一丸となって医療提供体制の維持に努める。</p>	<p>〈市の確認結果〉</p> <p>■第3四半期及び年度実績見込みの総評として年度計画の達成状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で判断できないが、年度計画に掲げる多くの指標において第2四半期の目標値を下回っている。</p> <p>■新型コロナウイルス感染症の対応では、発生当初から公立病院で感染症指定医療機関であることの責任を職員全員が認識し、適正な医療提供に取り組んでいることを評価する。</p> <p>■通期見込みで見ると、患者数の減少の影響は大きく、収益が前年度比で約10億円減少し、厳しい経営環境であることに変わりはない。</p> <p>■感染症ER整備に当たって設立団体として支援したので、公立病院として地域に必要とされる医療拠点としての使命を果たしつつ、健全で持続可能な病院経営を目指すこと。</p>
--	--

2 事業年度における第3四半期及び決算見込みの財務情報等に関する目標を達成するための取組

<p>〈法人の自己分析〉</p> <p>第3四半期の医業損益は△191百万円で前年同期比△201百万円だが、前期（第2四半期）より98百万円改善した。主な取組として、11月には健診センターを再開し、12月期には感染症対応による内科系を中心に前年同期比+22百万円改善するなど、新型コロナウイルス感染症による影響から立て直しを図り、財務内容の改善に向けて取り組んできた。冬期の感染再拡大期に備え感染症ERも稼働を開始した。引き続き感染症指定医療機関としての使命を果たしながら、この厳しい状況を乗り切らなければならない。</p> <p>資金面では、第3四半期末での現預金保有状況として3,041百万円で今後の運営費負担金の入金を踏まえた年度末資金残高見込みは2,792百万円で期首から+910百万円となる見込みである。新型コロナウイルス感染症対策に伴う設備投資や材料費、消耗品による支出が増加していることから、資金増減見込みについては計画比で△818百万円となっている（計画では+1,727百万円）。国県等からの補助金については、臨時的措置であるため、費用対効果を検証しながら、支出の抑制を引き続き行っていく。</p>	<p>〈市の確認結果〉</p> <p>■財務情報等に関する目標達成状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で判断できないが、損益ベースで年度目標に対して乖離しており、前年同期比でも下振れしている。</p> <p>■第2四半期の経常損益（負担金除く）は△364百万円だが、第1四半期（△920百万円）及び第2四半期（△599百万円）より改善している。その要因は患者数の回復による収益改善であるが、コロナ禍において予断を許さない状況である。</p> <p>■資金面では、県からの補助金収入により、やや安定したと判断できるが、収益改善が見通せないで引き続き留意すること。</p>
---	---

II 項目別での分析・確認結果（法人の自己分析と市の確認結果）

1 年度計画に掲げる目標指標に関する自己分析・確認結果まとめ（目標指標の実績及び達成状況は次ページの「令和2年度の第3四半期業務実績に関する小項目評価における指標一覧」を参照）

<p>〈法人の自己分析〉</p> <p>第3四半期は、目標達成した指標が7項目であった。達成指標のうち入院診療単価と外来診療単価については、新型コロナウイルス感染症による患者数の減少に対し、収益改善の大きな要因となっている。また、救急入院患者数と紹介及び逆紹介率についても、救急医療と地域連携の視点から、当院が地域に果たすべき役割をしっかりと果たせたと実感した。未達成であった項目は19項目であった。4-12月期についても、目標達成した指標が7項目、未達成が19項目となった。</p> <p>年度実績見込みとしては、8項目については達成見込みであるが、それ以外の項目の達成見込みは非常に厳しい。目標達成に向け、引き続き入院及び外来診療単価の向上に努めるとともに、診療科ヒアリングを継続し、各診療科の現状把握を行い、医師1人1日当たり診療収入の改善に積極的に取り組む。また、コロナ禍での地域への医療提供を安全安心に行うために、感染症ERを活用し、感染症指定医療機関としての使命を果たしていく。</p>	<p>〈市の確認結果〉</p> <p>■第3四半期で目標を達成した指標が7つであり、第2四半期の8つから減少している（年度見込みとしては8項目）。</p> <p>■コロナ禍で救急搬送件数が減少する中、救急搬送入院患者数が目標達成したことは評価できるが、市民病院は地域にとって重要な役割を担う医療機関なので、救急ストップ時間が長時間化していることの改善策を講じること。</p> <p>■入院診療単価、外来診療単価が向上しているが、平均在院日数が延びる傾向にある。連携している後方医療機関との役割分担などによりベッドコントロールの効率化を促進すること。</p>
---	--

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置														
1 経営の効率化														
2 管理体制の強化														
(1) 経営体制の強化														
(2) 内部統制の強化														
(3) コンプライアンスの徹底														
3 優れた人材の確保と意識改革														
(1) 法人職員の確保														
(2) 職員の意識改革とモチベーションの向上														
(3) 研修体制の強化														
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置														
1 単年度資金収支ゼロ以上並びに経常収支比率及び医業収支比率100パーセント以上を達成するために講じる施策														
17		医業収支比率 ※1	99.9%	97.1%	—%	100%以上	100.0%	—	—	—	86.0%	86.0%	↑	半期ごと確認指標
18		経常収支比率 ※2	102.7%	100.4%	—%	100%以上	100.0%	—	—	—	90.7%	90.7%	↑	半期ごと確認指標
(1) 収入及び収益の向上策														
19		入院診療単価	59,053円	58,001円	58,420円	58,500円	58,500円	59,634円	1,134円	101.9%	59,634円	101.9%	↑☆	
20		外来診療単価	15,294円	15,312円	15,127円	12,000円	12,000円	16,137円	4,137円	134.5%	16,137円	134.5%	↑☆	
21		手術件数	3,635件	3,674件	2,872件	4,570件	3,427件	1,851件	△1,576件	54.0%	2,468件	54.0%	↑	※
22		病床稼働率	87.9%	85.0%	84.3%	82.0%	82.0%	73.2%	△8.8P	89.2%	73.2%	89.2%	↑	
23		入院患者数	126,084人	120,478人	89,958人	133,225人	99,918人	78,802人	△21,116人	78.9%	105,069人	78.9%	↑	※
24		外来患者数	210,287人	198,409人	151,914人	228,420人	171,315人	126,405人	△44,910人	73.8%	168,540人	73.8%	↑	※
25		平均在院日数	12.6日	13.1日	12.8日	11.0日	11.0日	14.1日	2.7日	78.1%	14.1日	128.1%	↓	
26		DPCⅡ期間以内患者割合	58.7%	57.9%	58.5%	70.0%	70.0%	54.5%	△15.5P	77.8%	54.5%	77.8%	↑	
27		新入院患者数	9,293人	8,533人	6,490人	10,952人	8,214人	5,228人	△2,986人	63.6%	6,970人	63.6%	↑	※
28		I C U稼働率	114.4%	107.7%	107.8%	100%以上	100.0%	103.5%	3.5P	103.5%	103.5%	103.5%	↑☆	
(2) 支出及び費用の削減策														
29		人件費比率（職員給与費比率） ※3	54.7%	57.7%	—%	55.0%以下	—	—	—	—	66.7%	133.4%	↓	半期ごと確認指標
30		材料費比率 ※4	23.0%	22.9%	—%	20.0%	—	—	—	—	24.3%	121.5%	↓	半期ごと確認指標
31		後発医薬品指数	91.6%	94.0%	—%	80%以上	—	—	—	—	93.5%	116.9%	↑☆	半期ごと確認指標
32		委託費比率 ※5	11.7%	12.1%	—%	11.0%	—	—	—	—	14.9%	135.5%	↓	半期ごと確認指標
2 運営費負担金														
3 計画期間内の収支見通し														
第5 その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置														
(1) 大津市民病院附属看護専門学校の在り方について														
(2) 介護老人保健施設ケアセンターおおつの在り方について														

※1 算出根拠 医業収益/医業費用

※2 算出根拠 (営業収益+営業外収益) / (営業費用+営業外費用)

※3 算出根拠 医業費用の給与費(退職給付費用除く) / 医業収益

※4 算出根拠 材料費/医業収益

※5 算出根拠 医業費用及び一般管理費の委託費/医業収益

平成30年度以降
新規学生募集停止
平成29年度末事業
廃止

2 事業年度における第3四半期及び決算見込みの財務情報等に関する自己分析・確認結果まとめ

(1) 年度計画で掲げる収支計画のうち次に掲げる区分の金額と進捗状況(金額は百万円、達成状況は「○」が達成、「×」が未達成。「↑」又は「↓」は達成の方向)

No.	主な項目	R01年度 実績	R2年度 計画目標 (A)	第3四半期 (10-12月期) 目標(B)	第3四半期 (10-12月期) 実績(C)	達成状況 (C/B) 損益C-B	R01年度 (4-12月 期) 実績	3/4四半期 (4-12月期) 目標(D)	3/4四半期 (4-12月期) 実績(E)	達成状況 (E/D) 損益E-D	年度実績 見込み [F]	達成見込み 状況 [F/A]	備考
1	医業収益のうち入院収益	6,926	7,794	1,885	1,692	↑× 89.8%	5,168	5,782	4,564	↑× 78.9%	6,202	↑× 79.6%	
2	医業収益のうち外来収益	3,051	2,741	619	737	↑○ 119.1%	2,306	1,989	2,037	↑○ 102.4%	2,720	↑× 99.2%	
3	医業収益のうちNo.1, 2以外	398	405	102	67	↑× 65.7%	306	304	147	↑× 48.4%	207	↑× 51.1%	
4	医業費用のうち給与費	6,209	6,138	1,535	1,588	↓× 103.5%	4,681	4,604	4,710	↓× 102.3%	6,318	↓× 102.9%	
5	医業費用のうち材料費	2,373	2,103	526	620	↓× 117.9%	1,821	1,577	1,655	↓× 104.9%	2,222	↓× 105.7%	
6	医業費用のうち経費(光熱水費)	224	254	64	47	↓○ 73.4%	171	191	155	↓○ 81.2%	207	↓○ 81.5%	
7	医業費用のうち経費(修繕費)	37	38	10	7	↓○ 70.0%	22	29	16	↓○ 55.2%	25	↓○ 65.8%	
8	医業費用のうち経費(委託料)	777	835	184	186	↓× 101.1%	550	601	603	↓× 100.3%	874	↓× 104.7%	
9	医業費用のうち経費(No.6~8以外)	280	127	27	74	↓× 274.1%	208	90	238	↓× 264.4%	325	↓× 255.9%	
10	医業費用のうち減価償却費	773	590	148	162	↓× 109.5%	573	443	487	↓× 109.9%	641	↓× 108.6%	
11	医業収益 ※1	10,375	10,940	2,605	2,496	↑× 95.8%	7,780	8,075	6,748	↑× 83.6%	9,129	↑× 83.4%	
12	医業費用 ※2	10,691	10,109	2,497	2,686	↓× 107.6%	8,041	7,551	7,871	↓× 104.2%	10,621	↓× 105.1%	
13	医業損益 (No.11-No.12)	△316	831	109	△191	↑× △300	△261	524	△1,123	↑× △1,647	△1,492	↑× △2,323	
14	営業損益(負担金含む)	421	1,654	856	109	↑× △747	184	1,683	△475	↑× △2,158	△750	↑× △2,404	
15	営業損益(負担金除く)	△1,087	128	△24	△244	↑× △220	△934	40	△1,535	↑× △1,575	△2,164	↑× △2,292	
16	経常損益(負担金含む)	54	1,914	426	15	↑× △411	541	1,383	△744	↑× △2,127	△1,133	↑× △3,047	
17	経常損益(負担金除く)	△1,571	△379	△148	△364	↑× △216	△1,259	△337	△1,881	↑× △1,544	△2,649	↑× △2,270	

〈法人の自己分析〉

第3四半期は、医業収益の減少及び医業費用の増加により医業損益で赤字となり、目標値には至らなかった。上半期の新型コロナウイルス感染症による影響より徐々に回復傾向にはあったが、外来患者数の改善に比べ入院患者数の改善は厳しく、医業収益の目標未達要因となっている。また、感染症対応のための材料費の増加や防護服をはじめとする消耗品などその他経費の増加、機器整備による減価償却費の増加が医業費用の目標未達要因となっている。

4-12月期においては第2四半期からは医業収益が改善傾向にあるものの、第1四半期の新型コロナウイルス感染症対応による減益の影響が大きく、目標値には達していない。前年同期比で、医業損益では△862百万円、営業損益(負担金除く)で△601百万円、経常損益(負担金除く)で△622百万円と悪化している。収益については入院収益△604百万円、外来収益△269百万円と減少し、費用も病床稼働と連動する材料費、経費は減少したが、感染症対応に伴うものが増加した。12月期には入院収益と外来収益の合計が前年同期比で+22百万円となったが、冬期の感染再拡大による経営への影響も懸念されるため、入院センターの稼働拡大に向けた準備や診療科ヒアリングを実施するなどして、今後の経営改善に向けた取り組みを継続していく。

なお、臨時損益(利益3,270百万円、損失491百万円)を含めた当期純利益見込みは、1,647百万円である。

〈市の確認結果〉

■第3四半期及び年度実績見込みは減収減益で、収支バランスも大幅に悪化している。原因は新型コロナウイルス感染症の影響で、収益は患者数の減少により大きく減収となるものの、費用はその対応により抑制できないからである。なお、この影響に伴う経常損益の大幅減益は、臨時利益に計上している国の支援策に沿った県からの補助金によって補填される。

■第3四半期は外来収益は目標値を達成したが、ほとんどの指標で年度計画に掲げる目標未達となった。

■第3四半期は第2四半期及び第1四半期よりも損益は改善傾向にあったが、対前年同期、対計画値との乖離は大きい。持続可能な病院経営を目指すために、収支バランスの改善策を着実に推進すること。

※1 医業収益の内訳(入院収益+外来収益+その他)

※2 医業費用の内訳(給与費+材料費+経費+減価償却費)

(2) 事業年度における四半期ごとの財務情報のうち資金繰り等に関すること

<p>〈資金繰りの状況等〉</p> <p>令和2年度第3四半期末での現預金保有状況は、12月末に滋賀県から新型コロナウイルス感染症入院病床確保支援事業費補助金として813百万円が入金され、3,041百万円であった(うち短期借入金無し。前年同期短期借入金1,214百万円)。短期借入金を除く実質の資金は、期首から+1,159百万円、前年同期比で+4,135百万円である。</p> <p>今後、3月までに大津市からの運営費負担金収入(697百万円)により、年度末資金残高は2,792百万円(期首から+910百万円)となる見込みである。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">令和2年度資金増減見込み(第2四半期末現在)</td> <td colspan="2" style="text-align: right;">(単位:百万円)</td> </tr> <tr> <td>中期計画:</td> <td style="text-align: right;">+1,728</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">+910 (△818)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※主な要因</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td style="text-align: right;">計画 7,794</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">見込 6,202 (△1,592)</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">(令和元年度実績:</td> <td style="text-align: right;">7,098 (△896))</td> </tr> <tr> <td>その他医業収益</td> <td style="text-align: right;">計画 405</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">見込 174 (△231)</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td style="text-align: right;">計画 106</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">見込 1,857 (+1,751)</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">計画 6,475</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">見込 6,667 (+192)</td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td style="text-align: right;">計画 2,314</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">見込 2,431 (+117)</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td style="text-align: right;">計画 1,932</td> <td>→</td> <td style="text-align: right;">見込 2,176 (+244)</td> </tr> </table> <p>令和元年度実績の()内は令和2年度見込みとの差</p>	令和2年度資金増減見込み(第2四半期末現在)		(単位:百万円)		中期計画:	+1,728	→	+910 (△818)	※主な要因				入院収益	計画 7,794	→	見込 6,202 (△1,592)		(令和元年度実績:		7,098 (△896))	その他医業収益	計画 405	→	見込 174 (△231)	臨時利益	計画 106	→	見込 1,857 (+1,751)	人件費	計画 6,475	→	見込 6,667 (+192)	材料費	計画 2,314	→	見込 2,431 (+117)	経費	計画 1,932	→	見込 2,176 (+244)	<p>〈法人の自己分析〉</p> <p>第3四半期末での現預金保有状況は、資金収支で年度計画より550百万円減少している。その主な要因は支出の増加である。</p> <p>医業収入は新型コロナウイルスの影響で大幅減収となったが、9月末及び12月末に滋賀県から新型コロナウイルス感染症入院病床確保支援事業費補助金が1,857百万円(9月1,044百万円、12月813百万円)交付されたので、資金収入の大幅な悪化は回避できた。しかし、資金支出については、計画比で増加しており、資金収支は計画より悪化している(計画+1,728百万円→見込み+910百万円)。</p> <p>今年度については、新型コロナウイルスの影響による減収は、補助金により補うことで資金繰りに大きな影響はない見込みである。終わりの見えない感染症への対応というこれまでの病院運営にない特殊な状況下ではあるが、費用対効果を考えた支出に努めていく。</p>	<p>〈市の確認結果〉</p> <p>■現金保有状況は、滋賀県から新型コロナウイルス感染症入院病床確保支援事業費補助金が措置されたことで大幅な悪化はなく、年度末見込みにおいても、減少は見込まれるが危機的な状況ではない。</p> <p>■しかし、現在の資金保有状況の安定は、令和元年度末に本市が資金注入したことや国県からの補助金によるものによる造成であり、現状をもって持続可能な病院経営とは言いがたい。</p> <p>■今後も厳しい経営状況が見込まれることから、資金需要を的確に捉え、現預金の確保に努めること。</p>
令和2年度資金増減見込み(第2四半期末現在)		(単位:百万円)																																								
中期計画:	+1,728	→	+910 (△818)																																							
※主な要因																																										
入院収益	計画 7,794	→	見込 6,202 (△1,592)																																							
	(令和元年度実績:		7,098 (△896))																																							
その他医業収益	計画 405	→	見込 174 (△231)																																							
臨時利益	計画 106	→	見込 1,857 (+1,751)																																							
人件費	計画 6,475	→	見込 6,667 (+192)																																							
材料費	計画 2,314	→	見込 2,431 (+117)																																							
経費	計画 1,932	→	見込 2,176 (+244)																																							

(3) 事業年度における四半期ごとのその他の情報のうち職員体制等に関すること

<p>〈職員体制等〉</p> <p>令和2年度第3四半期末での職員体制は818人で、年度当初比で2人の増員(退職33人、採用35人)、前年度比では15人の増員である。なお、増員の主な要素は、救急診療科、消化器内科等の医師確保及び看護師業務適正化による臨床工学技士等の医療技術職の採用によるもの。</p>	<p>〈法人の自己分析〉</p> <p>感染症ERの運用をはじめとする新型コロナ感染症対応のため、看護配置について流動的に対応した。</p> <p>今後も診療報酬制度も見極め、法人として最適な職員体制の確保のため、引き続き職員体制の適正管理に努める。</p> <p>また、次期中期計画期間内で開始予定の待遇改善・生産能力向上・正規職員転換実現プランを計画しており、タスクシフトを推進し、職員の業務分担の適正化を図り、職員体制の適正管理に努める。</p>	<p>〈市の確認結果〉</p> <p>■職員が高い危機意識を持って新型コロナウイルス感染症への対応等、適切な医療提供に務められるよう、職員体制の確保に努めること。</p>
--	---	--

(4) その他、法人経営において特筆すべきこと

<p>〈事業実績等〉</p> <p>○理事会 第2四半期で4回開催(第5回:10月23日、第6回:11月27日) 主な議題:第2期中期計画、法人規程の改正および制定、第2期四半期報告等</p> <p>○監事監査 11月30日に監事監査を実施し、理事会運営を効率的に行うための日程調整や各事業の進捗報告の徹底、決算書作成に係るスケジュール、事務方の理事の必要性について監事より指摘を受けた。</p>	<p>〈法人の自己分析〉</p> <p>○理事会 第2期中期計画について、非常勤理事との協議を個別に行い、第6回の理事会において承認を得た。</p> <p>また、引き続き新型コロナウイルス感染症に対応して、メール会議での開催やリモートでの会議参加を行い、感染対策を徹底した。</p> <p>○監事監査 監事監査の指摘事項に基づき、来年度の理事会開催日程や電子カルテ更新についての進捗確認、決算書作成時のスケジュールの確認を行うとともに、監事監査の結果については院長をはじめとする経営幹部で共有した。</p>	<p>〈市の確認結果〉</p> <p>■理事会では、今後も重要事項に関して十分な説明と議論を尽くし、経営改善に努めること。</p>
---	--	--

<別紙>

令和2年度の第3四半期業務実績に関する小項目 評価における指標一覧（10-12月期）

令和2年2月

大津市

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置													
	1	経営の効率化											
	2	管理体制の強化											
		(1) 経営体制の強化					定性						
		(2) 内部統制の強化					定性						
		(3) コンプライアンスの徹底					定性						
	3	優れた人材の確保と意識改革											
		(1) 法人職員の確保					定性						
		(2) 職員の意識改革とモチベーションの向上					定性						
		(3) 研修体制の強化					定性						
第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置													
	1	単年度資金収支ゼロ以上並びに経常収支比率及び医業収支比率100パーセント以上を達成するために講じる施策											
17		医業収支比率 ※1	93.6%	99.9%	97.1%	-	100%以上	-	-	-	-	↑	半期ごと確認指標
18		経常収支比率 ※2	90.0%	102.7%	100.4%	-	100%以上	-	-	-	-	↑	半期ごと確認指標
		(1) 収入及び収益の向上策											
19		入院診療単価	57,954円	59,053円	58,001円	58,796円	58,500円	58,500円	62,160円	3,660円	106.3%	↑☆	
20		外来診療単価	13,997円	15,294円	15,312円	15,292円	12,000円	12,000円	16,205円	4,205円	135.0%	↑☆	
21		手術件数	3,888件	3,635件	3,674件	905件	4,570件	1,142件	681件	△462件	59.6%	↑	※
22		病床稼働率	88.4%	87.9%	85.0%	84.5%	82.0%	82.0%	78.3%	△3.7P	95.5%	↑	
23		入院患者数	126,868人	126,084人	120,478人	29,958人	133,225人	33,306人	28,084人	△5,222人	84.3%	↑	※
24		外来患者数	218,401人	210,287人	198,409人	50,095人	228,420人	57,105人	45,127人	△11,978人	79.0%	↑	※
25		平均在院日数	12.6日	12.6日	13.1日	12.9日	11.0日	11.0日	13.5日	△2.5日	112.7%	↓	
26		DPCⅡ期間以内患者割合	64.5%	58.7%	57.9%	57.5%	70.0%	70.0%	55.6%	△14.4P	79.4%	↑	
27		新入院患者数	9,879人	9,293人	8,533人	2,125人	10,952人	2,738人	1,911人	△827人	69.8%	↑	※
28		ICU稼働率	114.6%	114.4%	107.7%	114.0%	100%以上	-	116.2%	16.2P	116.2%	↑☆	
		(2) 支出及び費用の削減策											
29		人件費比率（職員給与費比率）	57.7%	54.7%	57.7%	-	55.0%以下	-	-	-	-	↓	半期ごと確認指標
30		材料費比率	22.9%	23.0%	22.9%	-	20.0%	-	-	-	-	↓	半期ごと確認指標
31		後発医薬品指数	89.3%	91.6%	94.0%	-	80%以上	-	-	-	-	↑	半期ごと確認指標
32		委託費比率	11.0%	11.7%	12.1%	-	11.0%	-	-	-	-	↓	半期ごと確認指標
	2	運営費負担金					定性						
	3	計画期間内の収支見通し					定性						
第5 その他業務運営に関する目標を達成するためとるべき措置													
		(1) 大津市民病院附属看護専門学校の在り方について					定性						平成30年度以降新規学生募集停止
		(2) 介護老人保健施設ケアセンターおおつの在り方について					定性						平成29年度末事業廃止

指標（数値目標）を置く項目数 26項目 …… うち 年度目標を達成した項目数 7項目

注1：達成欄の矢印（↑↓）は達成の方向

注2：単位のうち「P」はポイント